

Hirosaki Houtokukai Public Relations

# Santa Journal

## vol.9



**介護老人保健施設サンタハウス弘前  
一部ユニット型改修工事完了**  
ユニット型個室48床供用開始(2013.9.1~)



**ROKEN  
ReBORN**

### 生まれ変わった「老健サンタ」

介護老人保健施設サンタハウス弘前は、定員100床はそのままに、ユニット型個室48床、従来型個室52床(認知症専門棟)の構成となり、より家庭的な、そしてより快適な生活環境をご提供できるようになりました。

Roken - Geriatric Health Services Facility "Santa House Hirosaki" was ReBorn on September first 2013



## 介護老人保健施設 サンタハウス弘前 一部ユニット型改修工事完了に寄せて



社会福祉法人 弘前豊徳会  
理事長 下山保則

多くの皆様のご協力により、介護老人保健施設「サンタハウス弘前」の一部ユニット化への改修工事を無事終えることができ、平成25年9月1日より新たなスタートを切ることとなりました。

一昨年来、新たな短期入所生活介護の建築工事に加え、介護老人保健施設の改修工事と長期にわたる工事期間中は、騒音や駐車規制など、近隣住民・入居者・通所利用者並びにご家族の皆様には大変なご迷惑・ご不便をおかけいたしました。皆様のご理解、ご協力に深く感謝いたします。

厚生労働省が国の指針として打ち出し、青森県も推進しております「ユニットケア」では、居室定員を1名とし、入居前と入居後の生活が連続したのようになることが望まれております。介護老人保健施設の改修部分はユニット型個室として整備し、小規模なグループ単位で家庭的な雰囲気の中、入居者一人ひとりの尊厳保持、自律支援に配慮しながらサービス提供を行なってまいります。

皆様から支持していただける「安全な施設」づくりを目指し、役職員が一丸となり、新たなサンタハウス弘前を築き上げてまいります。

また、この両施設を機能させるためには職員の質の向上はもとより、地域の皆様、行政機関、医療機関並びに各居宅支援事業所等の尚一層のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

# サンタハウス弘前、水害に遭う

平成25年9月16日(月)、台風18号の接近に伴う豪雨により、8号館(住宅型有料老人ホームサンタハウス迎賓館)1階部分が床上浸水しました。また、10号館(短期入所生活介護サンタハウス弘前)地下駐車場が完全に水没しました。

この水害により、床・壁面・家具・事務機、消耗品等が汚損し、また10号館では地下から伸びるエレベーターが機能停止するなどの被害が生じましたが、利用者・入居者様については被害が生じることはありませんでした。



17日早朝。水上建造物さながらの10号館



17日早朝。職員駐車場が「池」に変貌



16日深夜、10号館地下が水没



水が引けた後の10号館地下駐車場



水に浸かりつつ復旧作業に取り組む職員



地下から1階にかけての階段も浸水



水没した労務室はもはや大災害の様相



16日深夜。8号館玄関も洪水状態



16日深夜。8号館1階全体が床上浸水



8号館1階事務室の床をめくると水が…



職員総出で片付け・清掃にあたる

今回の水害に際し、平成25年10月25日現在まで総数50件以上にのぼる企業、個人(匿名含む)よりお見舞いを頂戴しました。誠にありがとうございました。(以下企業一覧/個人様については省略させていただきます)

株式会社寺崎自動車様 株式会社クリンテック様 青森銀行弘前支店様 北星交通株式会社様  
 北星自動車整備株式会社様 手づくり料理結き様 株式会社ユアテック弘前営業所様 北方商事株式会社様  
 第一生命保険株式会社様 有限会社アブラ土谷商店様 株式会社沢田水産様 法光院様 有限会社川村精肉店様  
 日専連ホールディングス弘前支店様 株式会社伊藤鋳業様 青森三菱電機機器販売株式会社様  
 株式会社りふあいめんと倶楽部様 萩原乳業株式会社様 株式会社町田アンド町田商会様 一戸米穀店様  
 テクノ株式会社青森営業所様 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社黒石営業所様 株式会社ヤマイン様

## 平成25年度緊急雇用創出事業 8事業を受託、計24名の雇用を創出

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供することを目的とし、青森県では緊急雇用創出事業を実施しています。その中で、民間企業等からの公募及び事業実施の委託が行なわれ、弘前豊徳会では8つの事業計画を企画提案し、これらすべてが採択されました。

8事業のうち6事業については平成25年6月より、2事業については8月より開始されました。事業ごとに介護、送迎、設備管理、事務など異なる職種での採用がなされ、平成26年3月31日までを期間とし、事業終了後の正規雇用化を目的として職場実習と研修が実施されています。

# 被災地は今～東日本大震災から2年半が過ぎて～

## 弘前豊徳会職員が追いかけてきた被災地の現状

東日本大震災発生から2年半が経過しました。弘前豊徳会は震災直後から被災地要介護者の受け入れ活動に取り組み、現在も受け入れ態勢を継続させています。また、受け入れ活動と並行し、これまで定期的に被災地の福祉関係者を訪ね、復興状況の確認や広域入所の相談に対応しています。今年度については、緊急雇用創出事業で採用された職員の内2名が訪問活動に随行し、被災地の現状を見聞きする体験をしました。

### 緊急雇用職員が見た被災地の高齢者福祉の現状

#### 通所・訪問系サービスも飽和状態 — 岩手県大船渡市

事務職員補助（介護施設企画部門雇用創出事業） 秋元 洋子

平成25年9月3～5日に岩手・宮城の沿岸部を訪問しました。被災地では大分日常を取り戻してきているものの復興はまだまだといった様子でした。特に岩手県大船渡市では入所施設新設の計画が頓挫し、通所・訪問系サービスも不足しているらしく、「介護の手」が足りない状況でした。そんな中で弘前豊徳会の取り組みは重要な役割を担っていると実感しました。

#### 圧倒的な介護人材不足と二次的被害 — 福島県沿岸部

事務職員補助（介護施設企画部門雇用創出事業） 相馬 慎哉

平成25年10月22～24日に福島県沿岸部を訪問しました。この地域では放射能問題で若い働き手が他地域に移動し、介護職員が非常に不足しているとのこと。また仮設住宅など生活環境の変化が住民の心身に悪影響を与えているなど二次的被害が色濃い現状でした。福島県相馬市では初訪問の機関でもサントハウス弘前の名が知れ渡っており、その知名度の高さと歓迎ぶりに、正直驚きを隠せませんでした。



### 写真で見る被災地風景の変化



宮城県気仙沼市の国道沿いに打ち上げられた「第十八共徳丸」。震災の象徴として用問者・観光客が多く訪れていたが、市民アンケートにより解体が決まり、平成25年9月から周囲をフェンスで囲われ、解体工事が始まった。



震災以降、被災地では広域医療体制の拡充が進められている。過去3回、弘前豊徳会で退院患者の受け入れを行なった岩手県立大船渡病院では平成25年9月末からヘリポートの運用が始まった。

**続** 復興が進まない状況の中、現在も各地から受け入れの相談が来ています。平成25年9月17日（火）には、気仙沼市から10人目の受け入れがありました。



ご家族に手を引かれ、施設に降り立つ入居者様

**いてゆく支援**

### 日本興亜おもいやり倶楽部様より10万円の寄付

平成25年10月8日（火）、日本興亜損害保険株式会社弘前支社支社長永守俊哉様、同支社古澤智様の両名が社会福祉法人弘前豊徳会を訪問され、社会貢献組織日本興亜おもいやり倶楽部から10万円のご寄付を受けました。

日本興亜おもいやり倶楽部は、日本興亜損害保険株式会社の役職員有志及び同社の拠出金によって運営される社会貢献活動組織です。東日本大震災以降続けてきた岩手・宮城・福島3県からの要介護高齢者受け入れ活動が認められての寄付とのことでした。



日本興亜損保株式会社弘前支社長永守俊哉氏（左）より目録を受け取る下山保則理事長（右）  
写真提供：陸奥新報社

## 地域中学校・高等学校との連携

板柳高等学校インターンシップ 平成25年 9月11日(水)-12日(木)  
 北辰中学校社会福祉体験学習 平成25年10月24日(木)

弘前豊徳会では、地域の中学校・高等学校等から社会福祉体験・就業体験の受け入れを実施しています。9月には板柳高等学校から2年生男子6名が2日間のインターンシップに臨みました。また、10月には北辰中学校から男子8名・女子4名の計12名の生徒が社会福祉体験学習のため介護老人保健施設サンタハウス弘前に来訪し、介護施設の仕事体験や利用者様との交流がなされました。



利用者様と一緒に作業する板柳高等学校の生徒



一列に並び利用者様と体操する北辰中の生徒



利用者様から手ほどきされながらの紙箱作り



生徒が用意したレクリエーションを皆で楽しむ

## 防災対策

弘前消防署藤代分署 消防シミュレーション 平成25年8月27日(火)  
 地震想定避難訓練 平成25年10月9日(水)



短期入所生活介護サンタハウス弘前(10号館)の災害時を想定したはしご車のテストを実施



モデル役を立て、4人で階段を用いた車いすの移動を訓練するグループホームら職員



消火器を用いた初期消火訓練も行なわれ、主に今年度採用の職員が訓練に参加した

## 生計困難者等に対する利用者負担軽減が開始されました

弘前豊徳会では、平成25年11月1日(金)より、**生計困難者等に対する利用者負担軽減**を開始いたしました。これにより、住民税世帯非課税であって、一定の要件を満たし、かつその方の収入や世帯状況、利用者負担等を総合的に考えて、生計が困難な者として各市町村が認めた方については、下記の事業所のサービスを受ける際の利用者負担が軽減されることとなりました。

### 【利用者負担軽減が実施される事業所】

- ・短期入所生活介護サンタハウス弘前
- ・デイサービスセンターきらら弘前
- ・ホームヘルプサービスサンタハウス弘前

- ・デイサービスセンターサンタハウス弘前
- ・デイサービスセンターもみの木ハウス
- ・ホームヘルプサービスサンタハウス弘前公園

### 負担軽減のイメージ

| 負担種別          | 生計困難者 | 生活保護受給者 |
|---------------|-------|---------|
| 対象サービスに係る1割負担 | 1/4軽減 | 生活保護    |
| 食費            |       |         |
| 居住費           |       | 全額軽減    |

※利用者負担を軽減するにはお住まいの市町村への申請が必要です。

社会福祉法人 弘前豊徳会 広報誌 サンタジャーナル

# Santa Journal

通算第9号  
 発行日 平成25年10月30日  
 製作 社会福祉法人 弘前豊徳会  
 サンタジャーナル編集部  
 発行責任者 阿保英樹

〒036-8311  
 青森県弘前市大字大川字中桜川18番地10  
 TEL0172-99-1255 FAX0172-99-1256  
 URL <http://houtokukai.org/>  
 Eメール [santa-h@chive.ocn.ne.jp](mailto:santa-h@chive.ocn.ne.jp)